



●オリンピックへの道

2020年東京オリンピックにて、カヌースプリントに桐明輝子さんが出場。BMXの松本翔海選手は、2022年にフランスで開催された国際大会にて初優勝を遂げ、オリンピックへの出場が期待されている。

# 躍 スポーツ

つくる

ひとを



# 05

●INTERVIEW VOICE

## ハ女からつながる世界の空

BMX 日本代表

松本 翔海さん

BMXはジャンプ台を使って空中に飛び、技を競い合うスポーツです。はじめたのは7歳。ユーチューブを見て、やってみたくてと思い、家族みんなではじめて、自然とこの世界にのめり込みました。専用の練習場などももちろんなく、父親手づくりのジャンプ台で、家の横の駐車場や地面で練習を重ねてきました。BMXの世界は、日本でも世界の舞台でもみんな仲が良かったです。敵対した空気ではなく楽しく練習をしたり、一緒に盛り上げようという空気があります。いま14歳で、学校に通いながら練習は平日3〜4時間、土日は8〜9時間飛ぶこともありです。目標はオリンピックで金メダルをとることです。ずっと暮らしているハ女市は、みんな優しく、過ごしやすいいところだと思います。地域の方もすれ違った時や、練習場の横から「がんばれ」と声をかけてくれます。周りの応援してくれている人や両親に感謝して頑張っていきたいです。

# 躍 教育

●市内全市立学校にお茶の給茶機

八女茶のまちとして、市内全市立学校に給茶機を設置。地域で収穫された茶葉から、いつでも淹れたての温かいお茶、冷たいお茶を飲むことができる。



# 04

●INTERVIEW VOICE

## ふるさとハ女の学びを誇りに

県内初 義務教育学校北湧学園 初代校長

現ハ女市立 福島中学校 校長

中島 賢二さん

ハ女市では、ふるさとハ女を愛する子どもを育てることを重点として掲げ、小学校では「ハ女ふる里学」、中学校では「ハ女茶学」という独自の地域教育に取り組んでいます。特にハ女茶学では、おいしいお茶の淹れ方をJA青年部に実践いただいております。これからハ女を出る子どもたちが、様々な場所でハ女茶の美味しさを届けてくれると思います。また、福岡県内初の義務教育学校が誕生し、9年間同じ目標のもとで、より確かな連続性のある教育を実現しています。前例がなく、試行錯誤でしたが、運動会で一年生から九年生までバトンを繋ぎ、小さな子どもたちが、居ながらにして、たくましく駆け抜ける9年後の自分に夢や憧れを抱く姿に、この義務教育学校の素晴らしさを確信しました。今は変化の時代といわれますが、時代に淘汰されず残り続けるハ女の歴史や伝統の価値をしっかりと感じ取り、新しい時代に果敢にチャレンジできる子どもに育ってほしいと願っています。